

俳優座劇場開場七〇周年
築地小劇場開場一〇〇周年

俳優座劇場プロデュース No.120

音楽劇

母さん

かいせつ

『リングの唄』『長崎の鐘』『ちいさい秋みつけた』
『悲しくてやりきれない』など、誰もが一度は口ずさんだ
ことのある歌を数多く遺したサトウハチロー。

心に沁みる詩からは想像もつかないほど彼は奔放に
生きた。そして彼の詩に大きな影響を与えた母・春。家族
の間にあつた愛情と確執はハチローの人生を翻弄する。
それでも彼が詩に託した心とは――。

珠玉の愛唱歌に、新垣雄によるオリジナルの曲を加え、
ピアノとバイオリンの生演奏でお贈りする感動の舞台!!



阿部 裕
(オフィスクロキ)



土居裕子
(プランニング・クリア)



福沢良一
(81プロデュース)



町屋圭祐
(昴)



仲本詩菜
(ACT JP エンターテインメント)



浅野雅博
(文学座)



小暮智美
(青年座)



佐藤礼菜
(俳優座)



バイオリン演奏
植村 薫



ピアノ演奏
新垣 雄

作 堀江安夫
演出 横山由和
音楽 新垣 雄

あらすじ

昭和十九年の夏。詩人の八郎は、入隊を望む息子・忠の
反抗的な態度に手を焼いていた。だが八郎もまた少年の頃、
父に反発していたのだった。

放蕩な父・紅緑のため十代半ばで母・春と別居することに
なった八郎は警察沙汰を繰り返して、中学を退学、離島に
送られるはめになる。助けを求める八郎に、為す術もない春。
「なぜ俺がこんな目に遭うんだ。あんたが俺を捨てたからだ。
あんたは冷たい、丸ごと母親失格だ……」すれ違った思い
のまま、八郎が二十二歳の時に春は世を去ってしまう。
時が経ち、詩集『おかあさん』でベストセラー作家となっ
た八郎だったが……。

美術 石井強司
照明 桜井真澄
音響 藤平美保子
衣裳 久保田俊一
振付 鷺田実土里
歌唱指導 新垣 雄
舞台監督 泉 泰至
演出助手 深堀絵梨
宣伝写真 飯田研紀
宣伝美術 ミネマツツミ
企画制作 俳優座劇場
協力 サトウハチロー記念館

2024年5・6月例会

劇団文化座
命どう宝

5月
17日(金) 6:30 玉島
18日(土) 6:00 倉敷
19日(日) 1:00



佐々木愛・白幡大介・藤原章寛 ほか

作/杉浦 久幸
演出/鷗山 仁

2024年7・8月例会

劇団1980
いちばん
小さな町

7月
14日(日) 6:00 玉島
15日(月/祝) 6:00 倉敷
16日(火) 1:00



柴田義之・山本隆世・上野裕子 ほか

作/瀬戸口 郁
演出/高橋正徳